



いいで

学校便り 第14号

喜多方市立山都小学校

平成29年1月11日(水)

文責 校長 菊地 誠

新年明けましておめでとうございます

18日間の冬休みも終わり、今日から第3学期がスタートしました。今年も雪の少ない新年となりました。校内にも、久しぶりに子どもたちの元気な声が響き、活気がみなぎりました。

さて、昨年は、保護者の皆様のご支援とご協力により、本校の教育活動も大きな成果を上げることができました。改めて感謝申し上げます。第3学期は、それぞれの学年のまとめを行うとともに、次の学年に向けての準備を行う、とても大切な学期です。一人一人の子どもたちが目標をしっかりと持って、充実した毎日を送り、次の学年への橋渡しをスムーズに行うことができるよう支援していきたいと思ひます。今学期もご家庭や地域・関係機関の皆様との連携を図りながら、事故防止の指導にも力を入れていきたいと思ひます。

なお、お子さんの様子をご覧になって、心配なことなどありましたら、いつでも担任までご相談ください。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



始業式での目標の発表

努力とは、目標達成のため、つとめ励むこと

1月10日(火)、第3学期の始業式が行われました。高郷小学校から一人転入があり、128人での酉年のスタートです。5年生と6年生の代表が、冬休みの思い出と第3学期の目標を発表しました。始業式では、全校生に次のような話をしました。

18日間の冬休みが終わりました。冬休みの間に、大きな事故もなく第3学期の始業式を迎えることができたことを大変うれしく思ひます。

2学期の終業式に、三つ、皆さんにお願いをしました。一つめは、「お手伝い」です。家族の一人として、自分できることを考え、お手伝いできましたか。二つめは「あいさつ」です。おうちの人や親戚の人や、お客さんに「明けましておめでとうございます。」「今年もよろしくお願ひします。」とあいさつできましたか。三つめは「夢」です。「1年の計は元旦にあり」、今年の夢や目標を立てることができましたか。

今年は、何年ですか？そうです。「酉年」です。酉年の「酉」とはなんでしょう。ニワトリのことです。ニワトリは、朝、必ず決まった時間に鳴くといわれるほど時間に正確な鳥です。もともとは「時」を知るために飼われていたというくらいです。だから、酉年生まれの人は、その正確さからも分かるように、とても几帳面な性格、また、親切で世話好きとも言われているそうですよ。酉年の今年、ニワトリのように、時間をきちんと守って生活する1年になってほしいと思ひます。毎日決まった時間に寝る、起きる。テレビやゲームの時間をちゃんと守る。学校ではチャイムが鳴ったら席に着く。時間を見て行動する。いろいろ考えてほしいと思ひます。

今日から3学期が始まります。3学期は、52日あります。1年間の登校日は全部で204日ですから、その締めくくりの52日間ということになります。学年のまとめとして大切な時期です。1年生から5年生までは、一つずつ上の学年に、6年生は、小学校最後の学期です。

一日の体や頭の成長は自分ではなかなか気がつきませんが、毎日の努力が自分を作っていきます。努力する自分になりましょう。自分が努力したことは、目に見えるものも、目に見えないものも、全部自分に還ってきます。努力とは、「目標を達成するために、自分の力を出して、つとめ励むこと」です。自分で立てた夢や目標の実現に向けて、3学期も努力して欲しいと思ひます。